

地震 に対する 10の備え



身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。
- ・けがの防止や避難に支障のないように家具を配置しておく。



けがの防止対策 をしておこう

- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。



家屋や塀の強度を 確認しておこう

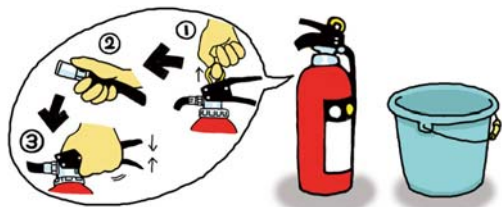
- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておく。



初動対応の備え

消火の備えを しておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。



火災発生の早期発見と 防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



非常用品を 備えておこう

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。



家族で 話し合っておこう

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を 把握しておこう

- ・地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- ・自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。



防災知識を 身につけておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を 高めておこう

- ・日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



確かな行動の備え